

# 行政自治会だより

第21号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 湯本 豊

## 新年のごあいさつ



古河市行政自治会

会長 湯本 豊

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、古河市行政自治会の活動に対し、ご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、それぞれの自治会・行政区において、各事業を活発に推進していただいていることに、心

から敬意を表します。

さて、国は少子高齢・人口減少社会という大きな課題の解決のためには、地域の住民が主体になってそれらの課題を解決する「地域力」を高めていくことが重要だとし、福祉改革の理念として「地域共生社会」の実現を掲げています。

私たちは、地域の安心安全のため連携を持ち、誇れる地域まちづくりに協力していければと考えます。

今後とも、皆様方のより一層のご協力をお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 市民総ぐるみ清掃が実施されました

11月19日（日）秋晴れのもと、市民総ぐるみ清掃が実施されました。この清掃活動は、市民と行政が一体となって、古河市内の全ての自治会及び行政区が年2回、古河地区は4回行っている清掃活動です。

今回の清掃には子どもからお年寄りまでの市民が参加し、各地区の計画で道路に散乱している空き缶・空き瓶等ゴミの回収等の清掃に汗を流しておりました。清掃活動の様子を掲載しました。

（広報委員 梅津信男）



## 行政自治会視察研修



神奈川県総合防災センター

10月27日（金）・28日（土）の2日間に亘り、行政自治会視察研修が実施されました。参加者は自治会長・行政区長116名で、バス4台に分乗し旅程に従って視察研修を行いました。

おもな研修先は次のとおりです。

### 【神奈川県総合防災センター】

厚木市にある防災学習を目的とした設備で延床面積26,970㎡、3階建ての立派な建物です。2～3階は消防用具発達の歴史コーナー、防災シアター、家庭防災の知恵コーナー、防災Q&Aコーナー、防災品コーナー等があり、さまざまな防災に関する展示がなされ、いざという時に備えやすいように、映像で学習できる工夫がされていました。1階の体験フロアには①地震体験コーナー、②風水害体験コーナー、③消火体験コーナー、④煙避難体験コーナーがあり、時間の都合上①と②のみの体験となりました。

①では震度7の揺れを体験しましたが、揺れと同時にガスコンロの元栓を閉め、ガス湯沸かしの種火を消してから、机の下に頭部を主体に逃げる体験を行いました。震度7は立っていることが困難で、実際に遭遇した場合は動揺するばかりで、うまく行動するのが難しいと感じました。

②では風速30mの風を体験しましたが、窓の



一般家庭の室内が再現されたボックスです



風水害体験コーナーのボックスです



呼吸することも困難な風速30mを体験しました

外には庭木の揺れる様や、瓦などの飛来物がリアルに映像化されておりました。約1時間30分の滞在でしたが、あらゆる角度から防災知識を学び、自助と共助の重要性を再確認しました。

### 【航空自衛隊浜松エアパーク】

自衛隊基地に隣接した3階建ての広報施設です。館内には自衛隊機を中心に、さまざまな飛行機の実機、使用する武器、ジェットエンジン、コックピット等が展示されています。年間を通してさまざまなイベントが行われ、多くの見学客が訪れます。

### 【龍潭寺・大河ドラマ館】

2日目の目玉はNHK大河ドラマのゆかりの寺、龍潭寺りゅうたんじの美しい庭園と大河ドラマ館の見学でした。大河ドラマ館周辺では撮影にまつわるスポットに多くの観光客が訪れ、イベントが開催されるなど、観光の起爆剤となっているようです。

今回の研修では、初めてお目にかかる会長・区長さんもいらして、さまざまな意見交換・情報交換ができ、親交を深めることができたのは大きな収穫でした。  
(広報委員 岩元俊二)

## 地区紹介（第19回）～第7地区～

新しい古河市の誕生に伴い、自治組織も編成され、平成20年4月に古河市立第七小学校を基に組織されたのが「第7地区」です。

当地区は、赤松町、光陽台、東谷、けやき平、新久田町、新久田三丁目、新久田県営アパート、鳥喰町、鴻巣一丁目、鴻巣二丁目、あけぼの台、グリーンヒル998、坂間企業団地、ククヤ台、坂間町、ひばりヶ丘、駒ヶ崎、富士見町の18自治会で構成され、各自治会の協力を得て、行政自治会第7地区として運営しています。

この地区は、室町時代に古河公方（足利成氏）の居城・鴻巣御所がありました。当時は平地林、雑木林が広がり、湿地帯や沼も多数あったそうです。自然な景観に潤いを与えてくれる地として、この地を好んで、館を建てたそうです。江戸時代は古河城の一部が存在し、史跡も数多く、歴史のある地区です。

昭和30年までは猿島郡新郷村でしたが、古河市と合併した当時は農耕地として開拓されており、鴻巣、新久田、駒ヶ崎、鳥喰、坂間村の5地域でした。

合併後、昭和33年に古河第二中学校が創設され、国道354号を交差する、旧古河市内と国道4号（栗橋橋）につながる公方通り（旧三高通り）が開通すると、地域の開発が進み、人口増加により昭和50年には古河市第七小学校が創設されました。

地域的には、西側は渡良瀬川と第1地区に接しており、東側に大堤地区、北側に第2地区、そして南側に第三高等学校と第4地区に隣接しているところです。

現在、古河公方公園（古河総合公園）が鴻巣地区に有り、古河桃まつりや、よかんべまつりなどが開催されており、県外からも大勢の人が来園してにぎわっています。また、市民の憩いの場所にもなっています。



毎年多くの観光客が訪れる古河公方公園



13団体の発表が盛大に行われました（功労感謝の会）

スポーツ面では、駒ヶ崎に古河市サッカー場があり、関東の大学サッカー対抗戦等が行われています。隣接して古河市野球場の施設もあり、高校野球の地区予選や市内の野球大会、学童野球大会などで、毎週にぎわっています。

医療福祉の面で、新久田地域には、福祉の森会館、福祉の森診療所などが開設されており、多くの方が診療を受けております。また、温泉が出ることにより、老人福祉センターができており、お年寄りの交流の場にもなっています。第7地区として、9月には毎年恒例となりました功労感謝の会を催し、多くの参加者から喜ばれています。

まだ若いこれからの地区ですが、住宅地として人気が出てきている地域となっています。これからも安心、安全な、地域づくりを推進していければと考えています。

以上で第7地区の紹介とします。

（第7地区 地区長 熊木津佐雄）

### 第7地区 区域



# 市内歴史散歩（第19回）

—まち発展の礎のひとつ—丘里工業団地の生い立ち



飛行場跡地に建設された丘里工業団地

JR 古河駅から愛称「十間道路」を東に市街地を抜け、東北新幹線の高架橋を潜ると、左側に敷地面積約115.5haの丘里工業団地があります。

この団地は飛行場跡地を利用したもので、昭和17年4月に開校された、今はなき逓信省古河地方航空機乗員養成所（当時）の跡地です。

当初は民間パイロットの養成所も兼ねていましたが、戦争の激化により、昭和18年10月から乗員も軍籍に編入され、飛行場は「赤トンボ」や双発高等練習機による訓練が、日に日にその激しさを増していました。

そんな中で、昭和20年7月・8月と空襲に遭い、練習機は甚大な被害を蒙りました。そして終戦を迎えたのです。

飛行場を建設した当時の記念碑が、小堤地内「中新田会議所」の敷地内にひっそりと移設されており、当時を今に伝えています。

その後、国県の施策により食糧増産・失業対策

として飛行場跡地の耕作化が進められました。

昭和22年1月より当該地についても県が入植を募集し、入植が開始されました。開拓地面積約111.3ha、新規入植者は51戸であり、入植者の中には復員したり、戦災に遭い帰農した人もたくさんいました。

そのような状況下にあって、国においては30年代から首都圏より工業密集状況を分離させる施策を展開していました。

町においても、昭和35年より進めた工場誘致対策が功を奏し、企業の多くが進出しました。そんな中で、日本住宅公団（当時）の要望もあり、岡郷開拓地が検討されました。昭和21年以来必死に開拓し、営農を展開してきた人たちにとっては苦渋の選択でしたが、昭和38年7月日本住宅公団との間に売買契約が結ばれました。これに呼応して町は、昭和38年8月古河総和都市開発区域の指定を受け、計画的な工業団地の造成に入り、昭和39年より造成工事が施行されました。

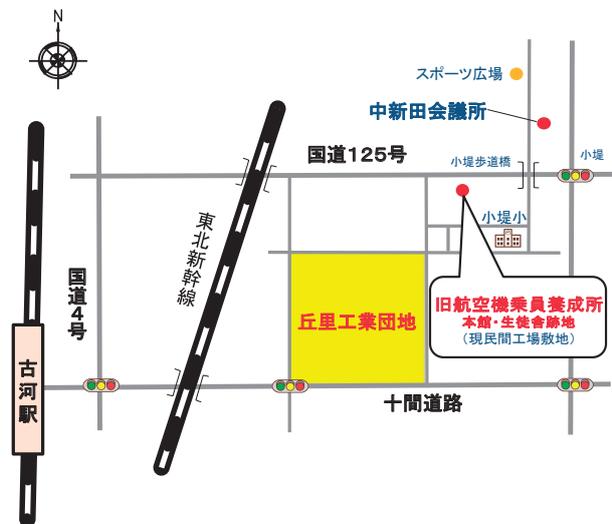
造成された岡郷工業団地は、昭和42年に公募が開始され、現在の活況にいたっています。工業団地南側には公害対策の一環としてグリーンベルトが設けられていますが、植栽されている松は、かつての開拓地の防風林の一部であり、当時を今に伝えています。

工業団地内については、昭和42年10月の地名変更により大字「丘里」となり、団地名も「丘里工業団地」となったのです。

（上辺見行政区 前田順一）



飛行場建設当時を伝える記念碑（中新田会議所敷地内）



## 編集後記

平成29年度古河市地域防災訓練を三和北中学校で実施する予定でしたが、台風の影響で中止となりました。平成29年の自然災害は、2月の鳥取の大雪、7月の九州北部豪雨の発生、9月の台風18号等、異常気象に影響したものが多く発生しております。世界を見ても各地で豪雨等の異常気象による災害が発生しております。平成30年は穏やかな一年であることを願いたいものです。（広報委員長 梅津信男）

## 行政自治会広報委員会

委員長 梅津信男  
委員 蜂須誠司 長濱弘道 熊木津佐雄  
古葉英雄 松田義章 岩元俊二  
二宮 誠 黒木ヒサ子